



山下PMCが5月、東京・日本橋に本社を移転した。PM（プロジェクトマネジメント）／CM（コンストラクションマネジメント）の専門会社の先駆けとして、さらにレベルアップする契機にする。新しいコーポレートスローガン『your E

山下PMC社長 丸山優子氏に聞く—— 最先端サービスを提供し続ける

dge』も発表。顧客の施設建築や事業創造を支援する『施設参謀』としての役割を果たしつつ、新たな価値を生み出し続ける方向性となる。どのような狙いがあるのか——。丸山優子社長に聞いた。
——オフィス移転の目的は。

「人的投資として移転を決めた。コロナ禍を経て、どこでも仕事ができるようになったのは良かったが、一方で一体感が薄れてきたことを危機感として持っていた。社員同士のコミュニケーションが活発かどうかは、若手の成長速度に影響する。コロナ禍での大きな気付きだった」
「皆が集まって仕事をするのが当社のやり方だ。そうすることで顧客から信頼

を得て、既存の枠組みから積極的にはみ出して成長してきた。社員が一堂に集まり、もう一回きちんとつながろうと『Re Connect』をコンセプトに掲げた」
——オフィスに集う意味が改めて問われている。

「必要な情報だけで合理的に仕事を進めるのであれば、ウェブ会議だけでも十分だ。作業としては終えられる。だが、人は人の中で育つ。同僚と上司のやりとりのような一見すると不要と思えるような情報まで耳に入ることが、人を育てる加速力になる。もちろん時間が必要な場合もある。いろいろ

な仕事のやり方を否定するものではない」

「会社に戻って周りと話することで、自分だけでは得られなかった解を得ることがある。自分の能力を超えるものを得て、



新オフィスでの一コマ（山下PMC提供）

2乗、3乗になる可能性がある。長い目で見れば生産効率を上げていく方向となる。それが空間価値であり、時間価値に勝てると思う」

——今後の事業展開は。

「以前のオフィスは3フロアに分かれていたが、1フロアに集約できた。新オフィスの受け止めはおおむね良好で、コミュニケーションが良くなった。皆が集うことで個人の能力を高めると同時に、互いに補完する機能も得ることができる。ベテラン層が若い人から学ぶこともたくさんある。層を厚くして多重な能力を備えていく」

「PM／CM業界への社会的な要請は大きく広がっている。産業として、まだまだ成長余力がある。守りに入るようでは守れなくなる。ゴールは時代によって変わる。風を感じ取る感覚を研ぎ澄まし、顧客の懐刀として最先端サービスを提供していく。それが『your Edge』だ」。

オフィス移転し意思疎通活発に